



バイオボイラーを前に握手する共同開発3社

市内異業種企業が共同開発

食肉製加工の株式会社ミートコンパニオン(阿部昌史社長、本社・東京都立川市)の加熱食品調理製品を担当する市内高山の新潟第一工場と、バイオマスボイラーシステムエンジニアの株式会社グリーンエナジー(小海孝雄社長、市内高田町六丁目)、総合設備の株式会社拓越(関谷晃浩社長、市内本町七丁目)の三社は二十日、ミートコンパニオン新潟第二工場で記者会見し、これまで産業廃棄物として処理せざるを得なかった食肉加工で生じる浮上油脂のフロスをバイオマスボイラー給湯システムを国内で初めて共同開発したと発表した。これにより年間八百五十万円掛かっていたフロス処理費用がゼロとなり、年間千八百万元掛かったA重油費用の三割削減と計年間約一千万元の経費削減の見通しがつき、同じ課題を抱える食肉加工業界からも関心を集めている。

全国初バイオ肉脂ボイラー給湯システム

市内ミートコンパニオン工場に完成

三社はともに、市環境基準に基づき昨年八月に結成された市民環境会議バイオマス利活用部

が参加した。中条地区では振興会を事業主体に平成二十年度

八日に移動、ラードと問

では復興基金を使い再開されることはなく、取組みで新システムは十月二十日

に同様に稼働した。同

回収費用と合わせて差引きで年間一千万元の経費削減となる見込みだ。

このシステム構築には、三社を含めた鉄工所をはじめ市内約十企業も協力しており、今後の展開が注目されている。

平成十八年に竣工したミートコンパニオンの新潟第二工場・テリカセンターは主に牛丼やカルビ丼、ハンバーグや角煮などの加熱食肉調理食品を製造している。その製造工程で固形油と純粹油のフードに加え、多量のフロスが最終的に生じる。固形油とフードは業者が無償回収するが、不純物も混ざるフロス(浮上油脂)は淨化槽に蓄積され、産業廃棄物として一リユーベ三万円、年間八百五十万円という高額処理費用が必要だった。

新システムは十月二十日開通した。同システムは十日町市のバイオマス利活用部

県ジュニア美術展入賞作決まる



約140人が前に講演する野口氏

子ども達に愛のシャワーを

「いじめ根絶」講演会で野口氏

料として毎日使用するこ

とで臭いもほとんど消え

るなど、予想以上の効果

を生んでいた。

同システムの総事業費

は税込み五千六百万円。

十日町市のバイオマス

ワン構想に基づき農林水

産省から三分の一の補助

金を得て完成した。

(株)ミートコンパニオン

の植村光一郎常務執行役

員は「廃棄物を何とか再

利用できないかと嘗々考

えていた。それが燃料に

二酸化炭素削減量は約十

四万キログラムの不約一万

本分と同等となり、工場

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場内の洗浄にも

大量的熱湯が必要だった

が、これも同システムの

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場への導入も

高めたい。移動させて

一ヶ月。問題点は無く予

想以上に良い。当社は全

国に十工場を開設してい

るが、この結果を検証し

た上で他工場への導入も

検討していく」と絶賛していた。

小海社長は「動物油脂を

使った燃焼給湯システム

は国内初と思う。十日町

の事業として全国にア

クセー

トとして毎日使用するこ

とで臭いもほとんど消え

るなど、予想以上の効果

を生んでいた。

同システムの総事業費

は税込み五千六百万円。

十日町市のバイオマス

ワン構想に基づき農林水

産省から三分の一の補助

金を得て完成した。

(株)ミートコンパニオン

の植村光一郎常務執行役

員は「廃棄物を何とか再

利用できないかと嘗々考

えていた。それが燃料に

二酸化炭素削減量は約十

四万キログラムの不約一万

本分と同等となり、工場

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場内の洗浄にも

大量的熱湯が必要だった

が、これも同システムの

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場への導入も

高めたい。移動させて

一ヶ月。問題点は無く予

想以上に良い。当社は全

国に十工場を開設してい

るが、この結果を検証し

た上で他工場への導入も

検討していく」と絶賛していた。

小海社長は「動物油脂を

使った燃焼給湯システム

は国内初と思う。十日町

の事業として全国にア

クセー

トとして毎日使用するこ

とで臭いもほとんど消え

るなど、予想以上の効果

を生んでいた。

同システムの総事業費

は税込み五千六百万円。

十日町市のバイオマス

ワン構想に基づき農林水

産省から三分の一の補助

金を得て完成した。

(株)ミートコンパニオン

の植村光一郎常務執行役

員は「廃棄物を何とか再

利用できないかと嘗々考

えていた。それが燃料に

二酸化炭素削減量は約十

四万キログラムの不約一万

本分と同等となり、工場

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場内の洗浄にも

大量的熱湯が必要だった

が、これも同システムの

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場への導入も

高めたい。移動させて

一ヶ月。問題点は無く予

想以上に良い。当社は全

国に十工場を開設してい

るが、この結果を検証し

た上で他工場への導入も

検討していく」と絶賛していた。

小海社長は「動物油脂を

使った燃焼給湯システム

は国内初と思う。十日町

の事業として全国にア

クセー

トとして毎日使用するこ

とで臭いもほとんど消え

るなど、予想以上の効果

を生んでいた。

同システムの総事業費

は税込み五千六百万円。

十日町市のバイオマス

ワン構想に基づき農林水

産省から三分の一の補助

金を得て完成した。

(株)ミートコンパニオン

の植村光一郎常務執行役

員は「廃棄物を何とか再

利用できないかと嘗々考

えていた。それが燃料に

二酸化炭素削減量は約十

四万キログラムの不約一万

本分と同等となり、工場

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場内の洗浄にも

大量的熱湯が必要だった

が、これも同システムの

サイクル法の熱回収と

してもカウントされる。

また工場への導入も

高めたい。移動させて

一ヶ月。問題点は無く予

想以上に良い。当社は全

国に十工場を開設してい

るが、この結果を検証し

た上で他工場への導入も

検討していく」と絶賛していた。

小海社長は「動物油脂を

使った燃焼給湯システム

は国内初と思う。十日町

の事業として全国にア

クセー

トとして毎日使用するこ

とで臭いもほとんど消え

るなど、予想以上の効果

を生んでいた。

同システムの総事業費

は税込み五千六百万円。

十日町市のバイオマス

ワン構想に基づき農林水

産省から三分の一の補助

金を得て完成した。

(株)ミートコンパニオン

の植村光一郎常務執行役

員は「廃棄物を何とか再

利用できないかと嘗々考

えていた。それが燃料に

二酸化炭素削減量は約十

四万キログラムの不約一万

本分と同等となり、工場

サイクル法の熱回収と